



今後の交通環境整備

布田 恵美

問 公共交通機関としてのiバスに対する市民の満足度はどのよう
に考えているのか。

市長 昨年度の市民満足度調査では設問47問中、満足度は43位。必要性がありながら、満足はしていない厳しい状況と受け止めていま
す。

問 現行の運行時間の工夫、路線の見直しは、今後どのような時期
に行っていくのか計画を聞かせて
ほしい。

市民経済部長 毎年の実績に応じて検討し、路線変更の検討は、3年に一度の路線検討委員会で行います。

問 市内では、新たな造成地、住宅建設も進んで、運行路線についての見直しが必要な地域が出てきているのではないか。

市長 玉浦西地区については、平成26年10月1日から地区内に2カ所のバス停を設けて運行する計画となっております。今後も土地区画整理事業の住宅建築状況も踏まえて、住民の意見、要望を反映させて、利便性の向上が図られるよう

検討していきます。

乗合タクシー運行しては

問 今後、岩沼市では、ますます高齢化は進むことから、従来のiバスの他にも、交通弱者の需要掘り起こしにつながるデマンド型乗合タクシーの運行を検討してはどうか。

市長 今の段階では、デマンド型タクシーまで広げていく考えはありません。

問 市内では、特定の個人のためではなく、複数の地域の移動手段として、行政と民間とで自治体に負担の掛からないデマンド型乗合タクシーの仕組みをつくれるのではないか。

市長 路線バス自体も将来的に利用見込みがあるかということも検討してみたいといけません。行政として、税金でどこまで、ドアツードアでやっていくことが本当にいいのかわりかまだ調査はしていません。



新火葬場建設

飯塚 悦男

問 7月29日、8月22日に、志賀地区で市主催の懇談会を開催した。今後、合意形成まで懇談会を開催するののか。

市長 地元の方には丁寧に説明し、理解を求めていきたいということを進めていきます。

お互いの立場考慮しては

問 新火葬場候補地付近に、志賀町内会長が無断で応募した新火葬場反対の看板等があるが、見解を伺う。

市長 町内会長が無断で応募したとは考えていません。反対する方の意見を真摯に受け止めて、理解を求めていきます。

問 火葬場建設で行政と対立している印象を受け、イメージダウンになっているのではないか。

市長 あくまで自己責任で掲示してあるということで、特にここで申し述べることはありません。
問 町内会や反対している周辺住民も岩沼市民である。お互いの立場を考慮しながら解決に向かうべきでないか。

市長 町内会でいろいろ議論があると存じています。候補地に応募した経緯がありますので、しっかりと見極めていきたいと思えます。

問 火葬場建設候補地の選定要件に、周辺に学校、病院、住宅群及び都市公園がないことになっている。候補地周辺は志賀地区でも住宅が多いところであり、火葬場用地としてふさわしくないのではないか。

市長 現在の候補地周辺に住宅が点在していますが、住宅群に当たるかの判断については別だと思えます。

問 合意形成ができない候補地は、ふさわしくないのではないか。

市長 私も同じ考えです。公共施設を設置するに当たり、地元でしっかりと受け止めてもらい、説明させてもらった上で判断したいと思えます。